

ちとせ・まち魅力検定 2022 応用編Ⅱ 解答

問題 1	富丘 中学校											
問題 2	下線① ウサクマイ遺跡群						下線② キウス周堤墓群 (完全回答 2 点)					
問題 3	ア 1 日当たりの廃棄物処理量は、100 トンを超えている。											
問題 4	(古い順・寺子屋) → ウ 千歳教育所 → ア 公立千歳教育所 → エ 苫小牧学校千歳分校 → イ 千歳学校 (完全解答 2 点)											
問題 5	問 1 総合防災 (1)						問 2 エ 体験型防災訓練 (1)					
問題 6	イ 1,300 年ほど前の東北地方の遺跡から多く発見されている。											
問題 7	サ	ケ	の	ふ	る	さ	と	千	歳	水	族	館
問題 8	ウ 西日本と同じ電力周波数は 60 ヘルツである。											
問題 9	エ 平成 5 年まで東千歳地域の給食は、東千歳調理場から供給していた。											
問題 10	イ 始まりは、大正 15 年に千歳駅とふ化場を結ぶ観光用のバス路線と言われる。											
問題 11	エ 昔話											
問題 12	千	歳	学	出	前	講	座	(漢字のみ)				
問題 13	ウ ショートステイは、保護者が養育できないときに児童養護施設で預かる。											
問題 14	エ 特別支援学級のみの小・中学校の併置校である。 へいちこう											
問題 15	ア 石狩低地東縁断層帯 とうえん											
問題 16	イ ジャンボタイムとして異学年交流を行っている。											
問題 17	サンドイッチ・セル						方式 (・なし可)					
問題 18	イ 市民すべてがスポーツを楽しみましょう。											
問題 19	(1) ク 北栄						(2) オ 末広高台 (完全解答 2 点)					
問題 20	イ あさがお学級											
問題 21	イ 大正 12 年に王子製紙苫小牧工場専用鉄道の橋として支笏湖に移設された。											
問題 22	エ パートナーシップ除雪排雪支援制度											
問題 23	(1) イ 千歳市開基記念総合武道館						(2) カ 高精密浄水処理 こうせいみつじょうすいしより (完全解答 2 点)					
問題 24	イ エゾシカは支笏湖地域での個体調整の一方、事故でけがをした場合の保護をしている。											
問題 25	エ 市民あげての誘致運動が行われて開校した。											

問題 26	問 1 チセ (1)	問 2 エ ユネスコ (1)
問題 27	ア 動物形土製品 ・ イ 土面 ・ ウ 北海道美々 8 遺跡出土品 (完全解答 2 点)	
問題 28	イ 健康増進教室 ・ ウ こどもカフェ (完全解答 2 点)	
問題 29	エ 防火や市民の健康保全を目的にした「広路」として設置された。 (完全解答 2 点)	
問題 30	ウ この王国が歩くスキーの本場であった。	
問題 31	ウ 地域ぐるみで子育てをする取組である。	
問題 32	ウ 市民病院の名称は、道内唯一である。	
問題 33	問 1 100 (1)	問 2 イ 視聴覚室・エ プラネタリウム投影室 (完 1)
問題 34	(1) 共助	(2) 公助 (完全解答 2 点)
問題 35	ア 千歳-北広島間	
問題 36	問 1 2 部 (1)	問 2 ア 映画館 (1)
問題 37	問 1 イ 千歳市民文芸の会 (1)	問 2 イ 市民芸術 (1)
問題 38	問 1 イ 旧日本軍 (1)	問 2 ママチ (1)
問題 39	ウ ビジネススタディクラブ	
問題 40	エ 北新コミュニティセンター	
問題 41	ウ 青少年教育情報をまとめた小中学生向け事業情報紙	
問題 42	ア 「かがやきの森」という活動で自然との関わりを学んでいる。	
問題 43	エ プラスチック製容器包装の分別収集を行っている。	
問題 44	(1) イ 青葉	(2) ア 青空公園 (完全解答 2 点)
問題 45	問 1 中川種次郎 (1)	問 2 ア 千歳消防組 (1)
問題 46	ア 大正元年に王子製紙発電所で働く従業員の子の教育の場の特別教授所として開校。 国民学校、小学校を経て、昭和 26 年に地名変更により学校名も変わりました。	
問題 47	問 1 防災 (1)	問 2 ア 青葉公園と青空公園 (1)
問題 48	(1) イ 千歳高星大学	(2) キ 千歳市若返り学園 (完全解答 2 点)
問題 49	(1) ウ 都市公園	(2) キ 総合 (完全解答 2 点)
問題 50	(1) イ 学校区で 9 年間の子どもの成長をサポートする小中連携プロジェクトを進めている。 (2) エ 農業体験や下の句かるたなど地域の人を講師に迎えた教育活動を行っている。 (3) ウ 航空機墜落災害の恐れがあるとして現在地に移転した。 (4) ア 落ち着いた学習環境づくりとしてノーチャイム・ノー放送の取組を行っている。 (完全解答 2 点)	

